

平成21年3月17日

阪神電気鉄道株式会社

阪神電車 大物駅のバリアフリー化工事が完了 3月18日から供用を開始します

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：坂井信也）では、大物駅（尼崎市大物町2丁目1-1）のバリアフリー化工事を、国、兵庫県及び尼崎市の補助を受けて昨年11月から行なってきましたが、この度、同工事が完了し、3月18日から供用を開始します。

この工事では、高齢の方や障害をお持ちの方などのバリアフリー対策と、駅施設のサービス向上を目的に、改札階と本線及び西大阪線の上下線プラットホームを結ぶ、エレベーター3基並びに地上階と改札階を結ぶエレベーター1基を新設し、更に、車いす対応トイレを多機能トイレに改修したもので、同駅をご利用されるお客様の利便性が向上します。

当社は、今後もより安全・便利で快適な輸送サービスの提供を目指し、駅施設等の改良を進めていく予定です。

以 上

参考

大物駅の1日の乗降客数

平成19年 - 約8,000人/日（平成19年11月、1日平均）